

# 神戸市立図書館協議会 第5期協議のまとめ

第5期協議会では、図書館を利用していない住民層に対する様々なアプローチを検討した第4期の協議を受け、その中から特に「書店や出版界との連携」「図書館のあり方、読書する環境」についての継続協議を事務局から求められた。図書館と、書店・出版界は、本を扱うということは同じだが性格が異なる。彼らとの連携を考えることで、図書館のあり方はより明確になるだろう。協議ではまず出版メディアを専門とする委員からレクチャーを受け、全員が共通の知識基盤を持った上で議論を進めることとした。

## 協議内容

### 1. 全国の書店を取り巻く状況と図書館との連携の必要性

これまでの出版流通業界と図書館の関係性を振り返ると、以前は業界内における図書館の存在は大きいものではなかったが、いわゆる「無料貸本屋」論争のように、図書館での貸出冊数を出版流通業界の低迷と関連付けて問題視する傾向は見られた。従来、読者は図書館と書店を使い分け、本を借りる利用者は書店における購買者でもあった。しかし、増加を続ける公共図書館に対し、書店数は大幅に減少し、その使い分けのバランスが崩れてしまった。

現在、全国で書店数（日本書店商業組合連合会加入数）は減少を続け、書店が全くない自治体も332市町村と、全体の5分の1にも上る（2015年5月、アルメディア調べ）。書店の疲弊ぶりは際立っている。地域によっては近くに本屋がなく、何十キロも車で行かなければならないという状況がある。販売数も非常に下がっている中、書店における図書館というマーケットの位置づけが相対的に高くなってきた。購買者個人として見ても、書店が少なくなったとはいえ、図書館を利用する読者が書店で本を購入する読者にもなっていくという流れはこれからもあり得る。こういった状況から、書店・出版界には図書館と協同する気運が少しずつ生まれている。また、図書館としても全国的に館数は増えているものの、資料費は10年前と比較して減っており、個人貸出数も2011年ごろを境に減少を続けている。図書館と書店は共倒れしていく可能性がないとは言えないのである。

神戸市についても、海文堂書店や日東館書林など古くからの書店が閉店していった経緯があり、町の身近な書店の閉店も後を絶たない。一方図書館側には書店・出版界と連携することで新たな利用者層を呼び込みたいとの考えがある。両者の連携を考えるべき時はすでに来ていると言えるだろう。

### 2. 図書館と書店・出版界に期待される役割

#### (1) それぞれの特徴

図書館と書店・出版界は、同じ“本”を扱っているとはいえ、それぞれに事情は異なり、得手不得手がある。

図書館が根本的に持つ大きな特徴は、収集・保存の機能である。図書館にはすでに絶版となった資料も保存されている。また、流通はしていても、書店の店舗数が減り、売り場面積も縮小する中、入

手が困難なものも図書館に行けば貸出中でない限り見ることができる。必要とされる本を、とりわけ子供たちに手渡したい本をいつでも手に取れるよう、図書館には整えておく必要がある。

また、未来の読者を育てるという意味で図書館に期待したいのは、本を選ぶ読者の目を養うことである。子供にはよい本をと親は願うものだが、本を選ぶことは知識や経験がなくてはなかなか難しい。本を選ぶ手助けも積極的に行ってもらいたい。

もう一点、公共施設としての図書館はその性質上、無料で使えるスペースを持っていることも利点として考えられる。書店・出版界にはそれは難しい。その代わり書店・出版界には著者等との繋がりがあり、事業への協力を依頼しやすい。図書館が彼らに協力してもらうとなるとやはりそれなりの費用がかかる。編集者や著者など、出版社は様々な資源を持っていると言えるだろう。図書館には、出版業界の知恵を借り、コストをかけずに市民や読者が利益を得るという構造の具体化を期待したい。

## (2) “場”としての役割

図書館と書店・出版界、双方には以下に挙げる“場”としての役割も期待することができる。

まずは本との出会いの“場”。幼い子供にとっては本の手触りや匂い、持った感じなども含めての“本”である。図書館でたくさん見て、これというものは購入し、本を手渡して最初に開くその時に感じるものを、そばにいる大人は分かち合い大切にしたい。また、子供時代、小学校の高学年ごろにお小遣いを貯めて初めて買った本が生涯の思い出の1冊になることがある。本に触れた経験が、人を、本を読む大人へと育てていくのではないだろうか。

大人にとっても、図書館や書店に行くことで、目的の本以外に周辺に置いてあるものが目に入り、面白そうだと思うことがある。気になった本を、まずは図書館で借りることもあり、あるいは書店に買いに行くこともあるだろう。大量に本がある、そのこと自体にも意味がある。

著作物は読まれて初めて価値が生じる。図書館や書店で本に出会う機会を、選択の幅を、次の世代に向けてできるだけ広げ、保っておかなければならない。

もうひとつは、人がいて、集える“場”であること。図書館にも書店にも、本との出会いを仲立ちする人がいる。そしてそれだけでなく、本や本にまつわるイベントを通して様々な交流を生み出すことができる。これも大きな利点と言えるだろう。

日本の図書文化の中で流通と図書館がこれまで担ってきた役割は、本を買って読む個人的な行為と、図書館という公的な場所が持つ機能というように、ある意味で別物であった。しかし今、どこか融合的な、新たな社会の中の仕組みとしての在り様が求められつつあるのだろう。

## 3. 関係性の構築と市民への仕掛け

### (1) 関係性を構築

では、図書館と書店・出版界は具体的にはどのように協調すればよいだろうか。全国的には先行事例がすでに見られるが、神戸においては地元出版社と連携しての講演会を開催したことがあるものの、継続的な関係が作れているとはいえない。まずは、書店・出版界との関係構築に努める必要があるだろう。情報交換会を行うこともひとつの手段である。図書館と書店・出版界は上述のとおり、扱うものは同じでも性質や役割において異なる部分がある。そういった互いの基本的情報や連携に当たっての理念を確かめ合い、本をたくさん読んでもらいたいという思いを共有した両者が手を携えていることを市民にも明確に伝え、読書への意識を根付かせることができればと考える。その上で共同企画へ

と進み、借りて読むだけでなく買いたいと思える本に市民が出合い、地元の書店に足を向けてもらえるような“仕掛け”を工夫してはどうだろうか。

以下に、協議会で提案された事例を挙げる。

#### <関係性の構築>

- ・情報交換会

#### <市民への伝え方>

- ・ SNS を活用し、図書館と書店・出版社共同のアカウントを作成してメールマガジンを配信
- ・ 共同で新聞等の成果物を作成し、図書館や書店に置く
- ・ 駅の掲示板に企画のポスターを貼り、イベントの開催時には主要な駅でチラシを配布
- ・ 広報紙での特集

### (2) 共同企画・仕掛け

書店と図書館との連携の例として、書店に返却ポストを置くということが明石市など他自治体では行われているが、図書館利用者が返却のついでに書店で本を購入するという行動を期待できる好例である。他にも相互に蔵書や在庫を検索できるシステムの構築や、連携イベントの開催など、両者の利害が一致するところでの新しい仕掛けは様々に考えられる。

以下に、協議会で提案・紹介された事例を挙げる。

#### <仕掛け>

- ・ 市内の書店に返却ポスト設置
- ・ 図書館と書店それぞれの人気著作者ランキング比較ポスター作成
- ・ 図書館と書店がテーマを決め、年末や夏休みに本の福袋を作成
- ・ 故ディック・ブルーナ氏など人気作家の本を特集して展示し、借りて気に入ったものは近くの書店で買えるようにするなど連動させる
- ・ 地元作家の講演会
- ・ 児童書出版社の応援を目的とした2日間くらいの連続セミナー
- ・ 子供たちのアクティブラーニングの機会として、小学校や中学校の授業で実際に編集者が本作りについて話す講座を開催
- ・ 絵本専門士や絵本読み聞かせマイスターの有資格者を招いた絵本の選び方や読み聞かせ方の講座
- ・ 複数出版社社長による出版の裏話と各社ブースでのお薦め図書展示（大阪府や神奈川県海老名市で実施）
- ・ 書店員が実行委員会に入って自治体内での“本屋大賞”を図書館とともに選出（山梨県で実施）

#### <「本を買う」ことの啓発>

- ・ 「本を贈ろう」という企画を実施し、所有する喜び、または贈る喜びの発見につなげる（山梨県で実施）
- ・ 本が作られて読者に届くまでをシリーズ化した連続講座や、書店の棚づくりの工夫・苦勞など裏話を聞くミニ講演会により出版文化への理解や尊重を育む
- ・ 図書館と書店相互の利用を生み出す、図書館と書店の近接しての設置

#### <経営形態ごとの連携>

- ・ 新刊書店、古書店、図書館のいずれにあっても検索すれば在り処がわかるようなデータベース
- ・ 地元の個人経営書店との連携（兵庫県書店商業組合を通じての共同事業）

#### 4. おわりに

以上のように、今期協議会では、図書館と書店・出版界それぞれの特徴と“場”としての役割を活かし、具体的な連携事業の実施に至れるよう事例の検討を行った。図書館、児童書出版社、作家、挿絵画家、その他いろんな人たちが協力して神戸の地で何かやっていくことを、中小、大型両方の書店も入れるような仕組みを作って行うことができれば、出版社や書店の人たちも、図書館は敵ではなくむしろ新しい読者を育てる機関だという理解が深まるだろう。協力し合って、“本の街・神戸”といったものを今後目指していければ面白い。

図書館としても未来に向けての読書習慣の形成は本来の重要な業務である。これからもそれをしっかりと行う中で、家庭でも親も子も本を手取る機会が増え、読書人口が増えたら良い。読書は個人の生活を豊かにするだけでなく、人と人との交流を生む。この交流は、書店・出版業界だけでなく地域社会をも活性化するという視点に立ち、協力関係を築いていってもらいたい。

もうひとつ、忘れてはならないのは電子書籍の存在である。図書館に出向く時間も取られず、手持ちの媒体で読むことができる気軽さは紙の本では得難い。今後は幼いころから電子媒体に慣れ親しんだ世代が大勢を占めるようになる。読書人口を増やすべく読書環境を整え、ひいては業界の活性化へと視野を広げるならば、紙と電子、その両輪での働きかけが今後ますます必要となるだろう。

【第5期神戸市立図書館協議会の開催記録】

	開催日	報告事項	議事
第1回	平成28年 11月18日	会長等の選出 神戸市立図書館の事業について	今期の図書館協議会のテーマについて
第2回	平成29年 3月23日	平成28年度の図書館事業について 平成28年度市民満足度調査結果 平成29年度のトピックス	平成28年度の事業評価（案）について 図書館と書店・出版界との連携について
第3回	平成29年 7月20日	平成28年度利用実績及び平成29年度 利用見込み	平成28年度の事業評価について 平成29年度の事業計画について 図書館と書店・出版界との連携について
第4回	平成30年 3月27日	平成29、30年度の図書館事業について 神戸市ネットモニターアンケートの実 施について 市民満足度調査の実施について	図書館と書店・出版界との連携について
第5回	平成30年 7月31日	平成30年度の事業計画について	平成29年度の事業評価について 第5期図書館協議会の協議内容について

【委員名簿】（任期：平成28年9月12日～平成30年9月11日）順不同・敬称略 ◎は会長、○は副会長

区分	氏名	役職等
学校教育関係者	篠原 亜紀（しのはら あき）	神戸市小学校教育研究会図書館部部长 （舞多聞小学校校長）
	大西 一人（おおにし かずひと） ※平成29年5月まで	神戸市中学校教育研究会図書館部部长 （広陵中学校校長）
	河島 正和（かわしま まさかず） ※平成29年6月から	神戸市中学校教育研究会図書館部部长 （駒ヶ林中学校校長）
社会教育関係者・ 家庭教育の向上に 資する活動を行う 者	○一居 明子（いちい あきこ）	「夕やけ文庫」所属
	森田 祐子（もりた ゆうこ）	神戸市婦人団体協議会理事
	五井 雅史（ごい まさし） ※平成29年9月まで	神戸市PTA協議会家庭教育専門委員長
	辻本 真也子（つじもと まやこ） ※平成29年10月から	神戸市PTA協議会組織・運営専門委員長
市民代表	大空 真希子（おおぞら まきこ）	ネットモニターより選考
	小林 佳代子（こばやし かよこ）	ネットモニターより選考
学識経験者	立田 慶裕（たつた よしひろ）	神戸学院大学人文学部教授
	◎安原 一樹（やすはら かずき）	兵庫教育大学大学院学校教育研究科准教授
	湯浅 俊彦（ゆあさ としひこ）	立命館大学文学部日本文化情報学専攻教授

平成 28 年度 神戸市立図書館  
事業評価

平成 29 年 7 月  
神戸市立図書館協議会

## 平成 28 年度神戸市立図書館事業評価

神戸市立図書館協議会は、事務局から提出された平成 28 年度の図書館サービスの自己評価について協議を行い、「平成 28 年度 神戸市立図書館事業評価」として公表する。

### 評価の基準

- A：計画どおり実施し、一定の成果があった
- B：概ね計画どおりだが、不十分な点や課題が残った
- C：不十分な点や課題が多く、計画どおりにいかなかった

図書館事業評価一覧			
平成 28 年度の目標と行動計画			
(1)図書館資料の充実と外部データベースを用いた情報提供により、市民がライフステージに応じて、仕事、教育、福祉、法律などについて自ら学び、課題を解決できるよう支援する。			
評価のポイントと取組事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの提供 88 件 387 冊（前年 66 件 210 冊）</li> <li>・レファレンス協同データベースへのデータ提供（図書館のレファレンスサービスや一般利用者の調査研究活動を支援するため、公共図書館、大学図書館等が協同してレファレンス事例、調べ方マニュアルなどのデータを蓄積、インターネットで公開するデータベース構築事業への参加、データ提供） 登録 244 件 被参照件数 233,454 件（前年 登録 143 件）</li> <li>・デジタルアーカイブズやデータベースの利用促進 出前トーク「図書館貴重資料に見る”こうべ”」 婦人大学（中央）5/13 30 人 資料展示「貴重資料デジタルアーカイブズで見る“神戸開港”」展（12/1～1/9） 貴重資料の掲載・放映等利用申請 19 件 32 点</li> <li>・課題解決につながる講座等の実施と参加者の声 食育イベント「和食のイロハ」（北）7/24 5 人 【参加者の声等】「栄養士の話聞いてよかった」「ためになるおもしろい内容だった」。ブックトークも好評で、資料を手にとってもらう機会となった。 講演会「身元保証人と成年後見人の違いについて」（灘・西）1 月 15 人</li> </ul>		
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル化資料送信サービス提供数、レファレンス協同データベース登録件数とも、前年を大きく上回った。</li> <li>○貴重資料のデジタルデータを利用し、出前トークや展示に活用。研究論文等にも使用いただけるようデータの提供は随時行っているが、今年度は神戸を扱った番組にも有益に活用いただいた。</li> <li>○身近な問題をテーマに課題解決につながる講座を開催。</li> </ul> <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル化資料送信サービスは利用者にとっても有益である。利用割合として増加していることは評価できる。</li> <li>△利用促進の PR にも努めてはどうか。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 100px; margin-left: auto;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> </div>	評価	A
評価			
A			

(2)課題解決を支援するレファレンスサービスの一層の周知に努める。			
評価のポイントと取組事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ブックリスト、パスファインダー（特定のテーマに関する資料の探し方、基本図書、図書館の使い方など簡単にまとめたマニュアルや利用案内）の作成配布 （パスファインダー49種（改訂含む）・ブックリスト35種） ブックリスト 「オリンピックに関する本」（西）「動物っておもしろい？」（北）「神戸開港」（中央） パスファインダー「参考図書を使ってみよう」12種（中央）4月～</li> <li>・図書館利用案内の展示や企画の実施と、参加者の声等 展示「“図書館ナビ介護編”をご利用ください！」（中央）5月 【利用者の様子】よく足を止めてご覧いただいていた。 展示「図書館で調べよう～“参考図書を使ってみよう”編」（中央）7～8月 「LOVE LOVE ライブラリー西図書館講座」（西）5/22 5人 6/19 5人 7/17 6人 【参加者の声】「初めての参加で楽しみながら学べた。今後も参加したい」「参加するたびに図書館にますます通いたいと思いました」「また同じようなイベントがあれば参加したい」 「孫と楽しむ図書館ツアー」（東灘）9/19 9人 「図書館バックヤードツアー」（中央）10/25 14人</li> </ul>		
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○時季にあったテーマのブックリストを作成、配布。パスファインダーも追加作成。既にあるものも内容を見直し、必要な改訂を行った。</li> <li>○人生の様々な場面で直面する問題を解決するための資料や情報の調べ方ガイド「図書館ナビ」をもとにパネル展示。介護をテーマにしたところ、熱心にご覧いただいていた。</li> <li>○図書館に親しみ、利用を促す見学イベントを実施。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="width: 100px; height: 60px; margin-left: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</td> </tr> </table> </div>	評価	A
評価			
A			



(3)本を仲立ちに人が集まり交流する場として、市民参画型の企画行事を実施する。

<p>評価のポイントと取組事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会、セミナー、工作教室、映画会等の実施（講演会等実施回数 224回 3,289人）             <ul style="list-style-type: none"> <li>大人のための朗読（新長田）4月～ 朗読グループダフネ</li> <li>大人のための朗読会（須磨）5月～</li> <li>高齢者向け出前おはなし会（北）4,5月 71人</li> <li>映画会（灘）月ごとのテーマを決めて開催</li> <li>大倉山ビデオシアター（映画会）（中央）10月 46人</li> <li>バリアフリー映画会（東灘・灘）4月他 158人</li> <li>工作教室「万華鏡を作ろう！」（東灘）5/14 16人                 <ul style="list-style-type: none"> <li>【参加者の様子】子供たちの顔には達成感が溢れ、作ったばかりの自慢の万華鏡をクルクルと回していた。互いに見せ合ったり、スタッフに見せに来たりする子もいた。</li> </ul> </li> <li>絵手紙講座（北神）4/21 7人 7/7 6人 11/17 7人（2/16）                 <ul style="list-style-type: none"> <li>【参加者の様子】ほぼ定例開催であるため、募集前から楽しみにしている人もいた。講座で話題になった本をすぐに会場に持って行き借りていただいた。次も参加したいとの声があった。</li> </ul> </li> <li>星空講座「スーパームーンって何だろう？」（西）10/29 10人</li> <li>「英語 de 読書会」（新長田）10/29 8人 【参加者の声】「ぜひまた受講したい」</li> <li>「ハラチグサとえほんのえでアート」（兵庫）11/3 20人</li> <li>ビジネスセミナー「会社の発展は社員の幸せから」（三宮）11/4 10人</li> <li>「白井操氏講演会 “一粒の豆から幸せを”」（中央）11/5 61人                 <ul style="list-style-type: none"> <li>【参加者の声】参加者アンケートの結果、参加者全員が「よかった」「とてもよかった」と回答。「食がいかにか大切かわかった」「家庭の味を子供に伝えていきたい」「豆のすばらしさを知った」</li> </ul> </li> <li>「大人の豆本教室」（三宮）11/12 11人</li> </ul> </li> <li>・参加型展示             <ul style="list-style-type: none"> <li>「ぷらっとひとことコーナー」（新長田）、「おたよりコーナー」（垂水・西）                 <ul style="list-style-type: none"> <li>※図書館への質問やお手紙</li> </ul> </li> <li>「どくしょの木」「読書のそら」（灘・西・新長田） ※本の感想</li> <li>「あなたにこの本おすすめし隊」（北神） ※本のレビュー</li> </ul> </li> <li>・利用者等の参加、交流を促進する企画の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>ショーケース展示「ジョイエール御旅が提案する地産地消のススメ」（兵庫）5/31～10/2                 <ul style="list-style-type: none"> <li>【利用者の声】「ジョイエール御旅に行ってみたい」「ジョイエール御旅の理念や取組を具体的な形で目にすることで、ジョイエール御旅という市場がより身近に感じられた」</li> </ul> </li> <li>「集まれ!本好き・本の虫」（北）7/16 4人 ※中高生を対象とした読書交流会</li> <li>「北区 知っとこ!カルタ」（北）8/7 9人                 <ul style="list-style-type: none"> <li>【参加者の声】「昔の家を見学しながら地元の歴史に触れることができた」「子供向けの地域史のイベントはなかなかないので参加した」</li> </ul> </li> <li>「ママにひとときをプレゼントしませんか」（兵庫）9/25 10人※読み聞かせと参加者同士の交流会                 <ul style="list-style-type: none"> <li>【参加者の声】「また開催して下さい」（前回参加者）「気になって様子を見に来たが、赤ちゃんもお父さんも穏やかそうで良かった。次回はいつですか？」（お母さん）</li> </ul> </li> <li>「まわし読み新聞のすすめ」（兵庫）11/6 16人                 <ul style="list-style-type: none"> <li>【参加者の様子】それぞれの注目した新聞記事をもとにした活発なコミュニケーションが見られた。終了後に名刺交換する参加者もいた。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p>評価</p>	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多種多様な年代・興味に応えるイベントを各館で工夫を凝らし実施。</li> <li>○児童やYAのコミュニケーションを図るとともに、読書への興味や関心を引き出す参加型展示を実施。</li> <li>○図書館を通して地域や人に親しみ、交流を生むイベントを開催した。</li> </ul> <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <p>△企画は多種多様だが、PRは足りているだろうか。情報を目にする機会が少ない。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> </div>

(4) 地域に関する情報の確実な収集に努めるとともに、特に市政に関する資料は、市民の理解を深め、地域の課題解決に役立つよう、関連部局と協力し紹介方法を工夫する。

評価のポイントと取組事例

- ・図書館からの情報発信として業務に役立つ新着図書案内等  
 庁内宛メールマガジン送信（新着図書情報・行事案内）（中央）  
 ※新着図書情報は、業務に役立つものを5冊程度選択して掲載
- ・展示等の企画（食育、土砂災害防止月間、自殺予防など）  
 と、参加者の声等  
 土砂災害防止パネル展（東灘）6月 六甲砂防事務所連携  
 「目で見る神戸市大水害」展（中央）6月  
 食育展示（兵庫・北神・新長田）6月  
 パネル展示「“けんしん”受けてみませんか？」（中央）8月  
 健康づくり支援課、国保年金医療課、保健大臣会合推進室連携  
 自殺予防週間展示（中央・東灘・三宮・兵庫・新長田）9月  
 【来館者の声】「心温かい展示ですね」「取り上げていただいて嬉しいです」その他、心の健康センターに興味を持たれた方もあった。  
 シルバー人材センター連携展示（中央）10月  
 中央区「KOBE パンのまち散歩」関連展示（中央）11月  
 開港150年写真展（中央）12月 広報課、神戸アーカイブ写真館連携  
 自殺対策強化月間展示（中央・東灘・灘・三宮・新長田・北・須磨・垂水）3月

評価

【図書館の自己評価】

- 庁内に向け定期的に新着図書やイベント情報を発信し、資料や情報の提供を行った。
- 他部局と連携し、市政の取り組みやキャンペーンを紹介する各種展示を行うとともに、課題解決につながる資料紹介を行った。
- 他部局との事業連携や市政情報の発信など、行政支援に果たす図書館の役割について印象付けた。

評価

A

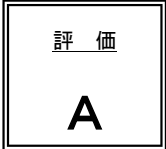
(5)他部局や地域の社会教育施設、民間の関係団体等と連携し、講座、企画展示などを行うことによって、多様な学習機会を提供する。

評価のポイントと取組事例

- ・児童館、保育所、公民館、動物園、埋蔵文化財センター等、日本政策金融公庫等と連携した展示、講座の開催と、参加者の声等  
 (イベント実施回数 333 回 参加者 10,195 人 展示 135 回)  
 「学校懐かし写真展」7月～11月 「神戸開港 150 年写真展」1月～  
 (東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水・西) 神戸アーカイブ写真館連携  
 応援展示「2017 おかんアートとハンドメイド展」(兵庫) 11～12 月  
 おかんアートとハンドメイド実行委員会連携  
 【利用者の反応】「初めておかんアートを知った」「地元でこんな面白いことをしていると知らなかった」等の声のほか、展示したおかんアートに興味を持った子供が父母らを展示コーナーに連れてくる様子が頻繁に見られた。展示会場(コミュニティカフェ)に、図書館の応援展示を見て訪れた人もいた。
- すくすく赤ちゃんセミナー 区役所連携 全地域館で実施  
 おはなしゆりかご(兵庫)神戸市地域子育て支援センター兵庫連携  
 「在日外国人児童読書の会」「絵本の読み聞かせ」(新長田)NPO 神戸定住外国人支援センター連携  
 育メンイベント「パパ読んで」(須磨)4/23 21 人 たかとり児童館連携  
 「ワインまつり」「新酒まつり参加」(西)5/4, 10/22 読み聞かせ 27 人 神戸みよりの公社連携  
 「空き地カフェ祭り」※出張図書館として参加(兵庫)6/19 兵庫区駅前地区創生推進委員会  
 「よみきかせワークショップ」(三宮)6, 9, 12 月 64 人 バンドー青少年科学館連携  
 「栄養士さんに学ぶ!食品添加物との上手なつきあい方」(北神)7/31 17 人 北神区民センター共催  
 【参加者の声】「体に悪い食べ物がよくわかった」「レジュメがあればよかった」「毎日の食事の参考にしたい」
- 「宇宙のふしぎ相談室」(灘)8/17  
 摩耶山星まつり実行委員会(神戸大学天文研究会・灘区役所まちづくり課)との連携  
 「体育の日イベント お話の会&身体遊び」(須磨)10/10 16 人 須磨体育館連携  
 「きてきてカーニバル」図書館ブース(北)10/28 きてきてカーニバル実行委員会連携  
 「しんながた くにづかローカル&ワールドフェスティバル」参加(新長田)  
 11/13 読み聞かせ 45 人 くにづかりボーンプロジェクト連携  
 スキップフェスタ図書館ブース(中央・三宮・兵庫)11/11 神戸新聞社連携  
 ワークショップ「動物のお面を作ろう」(灘)11/19 8 人 王子動物園連携  
 こべっこクリスマスおはなし会(中央)12/23 25 人 こべっこランド連携  
 「ビジネス支援講演会 起業へのステップ」(中央)2/4 14 人 日本政策金融公庫  
 いかなごぬり絵チャレンジ(垂水)3/29 55 人 垂水区まちづくり課

評価

【図書館の自己評価】  
 ○行政他部局等と多様に連携し、工夫を凝らした多くの企画により学習の機会を提供。地域の施設、団体との連携により、その地域ならではの特色が生まれている。  
 図書館外での実施も多く、地域の中で図書館や本に親しみを持ってもらえるよう努めた。



(6) 学校図書館の機能強化への支援として、団体貸出や司書による運営アドバイスなどを行う。

評価のポイント

- ・学校司書への研修等の実施  
9/28 平成28年度第6回学校司書研修会 64人  
10/7 学校司書採用研修 31人  
6/21, 10/4  
神小研図書館部主催の新刊紹介の会（図書館は会場提供、新刊書の展示及び紹介）に、希望する学校司書も参加 38人
- ・学校図書館への団体貸出の実施  
総合学習図書セットの利用実績  
169校 16,353冊  
テーマ本貸出の利用実績  
523回 18,832冊（昨年度実績 467回 17,653冊）  
生涯学習課からの希望リストに基づき選書・購入  
「調べ学習紙芝居シリーズなど、調べ学習に役立つ資料

評価

【図書館の自己評価】

- 学校図書館・学校司書への支援として、学校司書への研修会等を実施し、最新の情報提供や運営アドバイスをを行った。
- 学校図書館に対する資料面での支援として、総合学習用図書セットを貸出。また、具体的なテーマに応じた図書を選択し貸し出すテーマ本貸出も昨年以上に増加。

評価

**A**

(7) 婦人大学、シルバーカレッジなど市の生涯学習施設の学習者に対し、図書館利用案内など行って学習を支援するとともに、成果物の一部をホームページ上で紹介する。

評価のポイント

- ・利用案内、説明会の実施と参加者の声等  
出前トーク「くらしの中に図書館を！（婦人大学講義）」12/15 130人  
【受講者の声】「多様なサービスがあると知った」「図書館のイメージが変わった」「今まで図書館を活用できていなかった」「知りたいこと、疑問に出会ったら図書館に相談したい」  
見学 婦人大学 2/14,15 90人  
見学 シルバーカレッジ 3/3 63人
- ・成果物のホームページ上での紹介  
10/1 ホームページに「婦人大学卒業記念論文集」「シルバーカレッジ グループ学習のまとめ」を掲載

評価

【図書館の自己評価】

- 出前トークで図書館利用を説明。参加者の評価も良好で、図書館の機能について知っていただく機会となった。
- 見学や利用案内を実施。後日、具体的な学習支援として、レファレンスとして対応。
- 成果物をホームページに掲載することで生涯学習に対する関心を広く持ってもらえるよう努めた。

評価  
**A**

(8)図書館に対する理解と関心を高め、利用者層の拡大を図るため、ホームページ等を活用した積極的な情報発信に努める。	
評価のポイントと取組事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事や展示の紹介などコンテンツの充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>「おうちのかたへ」 「学校図書館支援のページ」 「子供読書ボランティアのページ」 公開</li> <li>「ほんのむし」 掲載</li> <li>『食から学ぶ震災の記録』 pdf データ公開</li> </ul> </li> <li>各館をページリニューアルし、開催済みイベント・定例イベントのPR等を掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>灘「宇宙のふしぎ相談室」 「バリアフリー映画会」</li> <li>兵庫「公式キャラクター“としょこちゃん”紹介」 「空き地カフェ祭りに参加」</li> <li>北「きてきてカーニバル 北図書館ブース」 「茅葺民家“内田家住宅”のイベント」</li> <li>新長田 多目的室の自習利用の案内</li> <li>須磨「YAかわら版」 (区民センターに設置している図書館からのYA向けメッセージボード)、見学会のPR</li> <li>西「LOVE LOVE LIBRARY 図書館利用講座」 「生物多様性の本棚」</li> <li>など、全館について実施済</li> </ul> </li> <li>・ Facebookでの発信と反応 <ul style="list-style-type: none"> <li>掲載記事数 220件 いいね! 1,862件 (平均8.46件)</li> </ul> </li> </ul>
評価	<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供サービスに関するコンテンツを整理するとともに充実させた。</li> <li>○各館ページに館内や行事の様子を掲載して具体的なサービスを紹介。レイアウトを統一し、見やすいページ作りに努めた。</li> <li>○FaceBookを活用し、業務や行事についての日常的な情報発信に努めた。</li> </ul> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> <p style="text-align: center;">評 価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</p> </div>

(9)図書館から離れた地域に、予約本受取りや返却のための市民図書室を活用した「予約図書受取コーナー」や駅ターミナルでの返却ポストを設置するなど、サービス網の整備に努めて読書環境を充実させる。

評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約図書受取コーナーの設置・PR             <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 玉津南公民館に予約図書受取コーナー設置・PR チラシ配布</li> <li>5月 ひよどり台小予約図書受取コーナーのチラシ配布 ひよどり台地域福祉センター</li> <li>7月 予約図書受取コーナーの説明とチラシ配付 大池中学校での地域懇談会</li> <li>7月 和田岬小予約図書受取コーナーのチラシ配付 御岬保育所保護者会</li> <li>9月 西区区民広報紙にPR 掲載</li> <li>1月 王子スポーツセンター内に予約図書受取コーナーを設置</li> <li>2月 王子スポーツセンター予約図書受取コーナーPR チラシ配布 灘区連合婦人会 周辺の小・中・高等学校 児童館</li> <li>3月 王子スポーツセンター予約図書受取コーナーPR チラシ・ポスター配布 中央区の周辺自治会・婦人会</li> </ul> </li> <li>利用状況は、昨年度からほぼ倍に増えた。</li> <li>・返却ポストのPR             <ul style="list-style-type: none"> <li>9月 西区区民広報紙にPR 掲載</li> <li>10月 谷上駅構内にポスター2枚、チラシ200部設置 地域情報誌「ふれあい」12月号に返却ポストの紹介記事掲載</li> </ul> </li> <li>・利用状況             <ul style="list-style-type: none"> <li>返却ポストの数量 平成29年1月時点（1日あたり平均）</li> <li>灘駅 73冊</li> <li>谷上駅 29冊</li> <li>舞子公園駅 42冊</li> </ul> </li> </ul>
---------	---

評価	<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「予約図書受取コーナー」を今年度新たに2か所設置。平成25年度から進めてきた設置事業が完了した。</li> <li>○PRにも努め、利用が多い所では認知も十分されてきている。</li> <li>△駅周辺の返却ポストの利用は、平成26年度の設置以来、ゆるやかに伸びていたが、当初予想された量に及ばなかったため、今年度で3年間のモデル実施を終了することとなった。</li> </ul> <p><b>【図書館協議会の評価・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○返却ポストは廃止となったが、計画に基づく実施は行いPRにも努めている。</li> <li>今回の結果を踏まえ、今後のサービスの検討へつなげてもらいたい。</li> </ul>
----	--

評 価
A

(10) 自動車図書館を活用し、図書館から離れた地域の子供と保護者に対する子育て支援のための情報提供に務める。	
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントや行事予定、区役所等が実施する子育て支援事業などの情報の紹介、提供 →未実施</li> <li>・妊娠、乳幼児の病気・健康管理、遊びや成長など育児、子育てに関するコーナー設置 →未実施 (来年度4月の車輛更新に際して、パンフレットラックを据え付ける。配架についても育児支援のコーナーを設ける。)</li> </ul>
評価	<p><b>【図書館の自己評価】</b> △来年度に向けて準備は整ったが、今年度の実施に至らなかった。</p> <p><b>【図書館協議会の評価・意見】</b> △図書館へのアクセスに不便を感じる人へのサービスとして自動車図書館の充実・活用に今後も努めてもらいたい。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> <p style="text-align: center;">評 価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">C</p> </div>



(11) その他	
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「神戸市置塩こども育成基金」を利用した児童書の買い替え 絵本、読みものを中心に、長く読み継がれてきた作品の買い替えを継続中。（今年度予算額 2,900 万円）</li> <li>・中央図書館における巡回用図書の購入 総合学習用図書のセット 「世界平和」「福祉（バリアフリー）」「伝記」セットを追加購入 幼稚園巡回図書 前年度と同様 1,020 冊購入 28 年度は私立幼稚園 10 園にも巡回 【巡回図書についてのアンケートより】 「幼稚園にない絵本に触れる機会になり、教諭も子供も発見が多い」</li> <li>・調べ学習関連企画の実施と参加者の声 「自分の研究を本にしよう！」（小学 5、6 年生）（中央）7/29 【参加者の様子】講座が終了してもすぐに席を立つ子はおらず、講師と話をしたり、図書館が参加者のテーマに合わせて用意した本を読んだりしていた。 「葉っぱの図鑑を作ろう」（小学 3～6 年生）（兵庫）8/7 「読書感想文講座」（小学生）（垂水）7/15 【参加者の様子】読んで感想を書き上げていく中で、本に没頭する様子が見られた。講座の内容をもとにもう 1 冊読み、感想文を書き上げた児童もいた。 「自由研究応援講座」（小学生）（垂水）7/15 「自由研究相談室」（小学生）（西）8/6, 11</li> <li>・「本へのとびら（小学 3、4 年生へのブックトーク）」の全館実施と参加者の声等（全館実施済み） 5/20 垂水 高丸小学校「ちょっと不思議 そしてほっこり」 ほか 【参加者の様子】後日、読書シートを持って来館し、その時紹介した探し方をもとに本を選ぶ児童もいた。 7/7 西 太山寺小学校「作戦・名案」 9/23 兵庫 明親小学校「この本、読もう」ほか 1/25 東灘 魚崎小学校「防災」 10/11, 12/8 北 北五葉小学校「新美南吉」ほか 10/13, 1/17 灘 灘小学校「斉藤隆介」ほか 10/25 中央 山の手小学校「戦争」 【参加者の様子】戦争当時の様子がわかる本でブックトークを行った。重いテーマだが、終了後に本を手にする児童が多かった。後日図書館に本を借りに来た児童もいた。</li> <li>・児童養護施設へのサービス検討 8/16 灘区の愛神愛隣舎を見学。 図書館ができるサービスを考え、市内の全児童養護施設に対しアンケートを実施予定（平成 29 年度）。</li> </ul>
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○置塩こども育成基金の活用により、長く読み継がれる児童書の買い替えを行った。（基金は今年度で終了）</li> <li>○総合学習用図書のセットを増やし、幼稚園については範囲を広げ、私立へも巡回した。</li> <li>○夏休みの時期に調べ学習イベントを行い、学習支援に努めた。</li> <li>○本へのとびらを全館で実施。</li> </ul> <div style="text-align: right; border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">評 価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</p> </div>

平成 29 年度 神戸市立図書館  
事業評価

平成 30 年 7 月  
神戸市立図書館協議会

## 平成 29 年度神戸市立図書館事業評価

神戸市立図書館協議会は、事務局から提出された平成 29 年度の図書館サービスの自己評価について協議を行い、「平成 29 年度 神戸市立図書館事業評価」として公表する。

### 評価の基準

- A：計画どおり実施し、一定の成果があった
- B：概ね計画どおりだが、不十分な点や課題が残った
- C：不十分な点や課題が多く、計画どおりにいかなかった

図書館事業評価一覧	
平成 29 年度の目標と行動計画	
(1)図書館資料の充実と外部データベースを用いた情報提供により、市民がライフステージに応じて、仕事、教育、福祉、法律などについて自ら学び、課題を解決できるよう支援する。	
評価のポイントと取組事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの提供 98 件 246 冊（前年 88 件 387 冊）</li> <li>・レファレンス協同データベースへのデータ提供（図書館のレファレンスサービスや一般利用者の調査研究活動を支援するため、公共図書館、大学図書館等が協同してレファレンス事例、調べ方マニュアルなどのデータを蓄積、インターネットで公開するデータベース構築事業への参加とデータ提供） 登録 148 件（前年 登録 244 件）</li> <li>・デジタルアーカイブズやデータベースの利用促進 資料展示「貴重資料デジタルアーカイブズで見る“神戸外国人居留地”」（4/18～5/7）、「貴重資料デジタルアーカイブズで見る“昭和 13 年神戸市大水害”」（6/23～7/9）、「貴重資料デジタルアーカイブズで迎える“楠木正成と楠公墓碑”」（1/17～1/31） 貴重資料の掲載・放映等利用申請 19 件 31 点</li> <li>・課題解決につながる講座等の実施と参加者の声等 「データベース講習会」（三宮）9 回 「OPAC 講習会」18 回（北神） 少人数ではあるが、回数を重ねることでデータベースや蔵書検索の周知を図った 「古い支度セミナー」（垂水）4/22 17 人 「栄養士さんに学ぶ 食べて長生き！健康講座」（北神）11/26 12 人 【参加者の声】 「最新の健康情報等教えていただき参考になりました」「図書館でイベント講座があることは全く知りませんでした。これからも参加したい」</li> </ul>
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○貴重資料のデジタルデータを利用した展示を積極的に行い、PRに努めた。</li> <li>○講習会を開催し、データベースや蔵書検索システムの利用に馴染みのない利用者への周知を行った。</li> <li>○身近な問題をテーマに課題解決につながる講座を開催した。</li> </ul>

評価

【図書館協議会の評価・意見】

- この分野では、他都市と比較しても一歩先をいっているといえるのではないだろうか。
- 資料の展示等、開催されているのがよいと思う。講座を開くことで参加者が多くなっていくと思うので、続けていただきたい
- 課題解決につながる講座は時代のニーズに合っている。  
△課題解決につながる講座等は、図書館の数からいって、もう少し回数が多く開催出来たらよいと思う。広報も含めて取り組んでいただきたい。激励の意味をこめて、Bにした。  
△国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスについて、年間で98件246冊とのことであるが、確かに前年の88件387冊は上回っているが、1週間に2回程度の利用しかないということであり、神戸市民全体でこの件数は少なすぎると思われる。そもそも、神戸市立中央図書館のみの提供で、しかも「閲覧のみ」で印刷不可となっていることは政令指定都市の図書館としてはあまりにも貧困な対応である。西宮市立図書館では、西宮市立中央図書館、西宮市立北部図書館、西宮市立鳴尾図書館、西宮市立北口図書館が「閲覧」「印刷」ともに対応していることと比較すれば、神戸市の取り組みの弱さは明らかであろう。国立国会図書館東京本館、関西館、国際子ども図書館に行かなくても、約150万点の所蔵資料を閲覧、印刷できるこのサービスの趣旨を深く理解し、神戸市民の情報基盤としての図書館の任務を自覚していただきたい。閲覧だけでなく、印刷も可能とすること。このサービスの意義と利用方法、具体的な活用事例を効果的な方法で市民に広報することが早急に求められる。  
△課題解決につながる講座等の実施に関連して、市民向けの各種講座に図書館がデータベース等を活用すればこのような調べ物ができることなどを積極的にアピールする取り組みを行うべきである。

評価

**B**

(2)課題解決を支援するレファレンスサービスの一層の周知に努める。		
評価のポイントと取組事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ブックリスト、パスファインダー（特定のテーマに関する資料の探し方、基本図書、図書館の使い方など簡単にまとめたマニュアルや利用案内）の作成配布 （パスファインダー・ブックリスト 55種 ※改訂含む）</li> <li>ブックリスト 「友情」（西）「夏の夜の読書」（北）「楠木正成と楠公墓碑」（中央）</li> <li>パスファインダー「エネルギー」「星」（兵庫・北・北神）</li> <li>・図書館利用案内の展示や企画の実施と、参加者の声等</li> <li>展示「“何でも調べる 健康・医療情報”をご利用ください」（中央）5月 【利用者の様子】よく足を止めてご覧いただいていた。</li> <li>展示「『KOBEの本棚』をご存知ですか？」（中央）12月</li> <li>参加型展示「パスファインダー、調べてみようあなたはどれ？」（須磨）4月</li> <li>「LOVE LOVE ライブラリー 西図書館講座」（西）4/14 5/12 6/9 10人</li> <li>「図書館バックヤードツアー（一般向け）」（中央）4/22 10/21 10/28 56人</li> <li>【参加者の声】 「地下の書庫の広さ、本の多さに驚いた」「普段見られない場所を見られ楽しかった」「図書館の利用の仕方を深く知ることができ興味深かった」「図書館の裏ではたくさんの手間がかかっているびっくりした」</li> </ul>	
評価	<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料展示のテーマや時季に合うブックリストを作成、配布。パスファインダーも追加作成。既にあるものも内容を見直し、必要な改訂を行った。</li> <li>○関心の高い健康問題について調べるためのパスファインダーを紹介するパネル展示を開催。熱心にご覧いただいていた。</li> <li>○パスファインダーそのものを知ってもらえるよう工夫した展示を行った。</li> <li>○図書館に親しみ、利用を促す見学イベントを実施。</li> </ul> <p><b>【図書館協議会の評価・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者に、一歩進んだ図書館の機能を知ってもらったことは、よいことだと感じる。</li> <li>・展示することで利用が促進されると思うので、展示は大切だと思う。</li> <li>・図書館をもっとよく知り、図書館の仕組みや仕事に興味や関心をもってもらうためにも、「バックヤードツアー」は良いと思う。ツアーに合わせて、レファレンスサービスの説明や案内が受けられたらよい。</li> <li>・パスファインダーやブックリストの作成を積極的に行っていることは評価できる。「エネルギー」や「星」といったパスファインダーなどは、ぜひ学校連携を行い、児童や生徒に対して図書館が作成しているパスファインダーについて周知すべきである。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; margin-left: auto;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">           評 価   <b>A</b> </td> </tr> </table> </div>	評 価  <b>A</b>
評 価  <b>A</b>		

(3)本を仲立ちに人が集まり交流する場として、市民参画型の企画行事を実施する。	
評価のポイントと取組事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会、セミナー、工作教室、映画会等の実施（講演会等実施回数 168回 2,736人） <ul style="list-style-type: none"> <li>大人のための朗読会（灘・新長田・須磨）※各館好評につき複数回開催</li> <li>「大人のための“ストーリーテリング”おはなし会」（中央）11/4 33人</li> <li>「秋の古民家で朗読ライブ」（北）11/11 53人</li> <li>「みんなで楽しむ音読の会」（中央）11/30 10人</li> <li>【参加者の声】参加者アンケートにて、全員がまた参加したいと回答。需要の高さが伺えた。</li> <li>「声を合わせる楽しさ・難しさを経験した」「いい運動になった」「継続開催してほしい」</li> </ul> </li> <li>映画会（灘）月ごとのテーマを決めて開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>大倉山ビデオシアター（映画会）（中央）10月 73人</li> <li>バリアフリー映画会（東灘・灘）4月他 86人</li> <li>「楽しい絵手紙講座」（北神）6月他 31人</li> </ul> </li> <li>工作教室「ポップアップ絵本を作ろう！」（灘）5/15 15人</li> <li>あべ弘士氏講演会「地球はどうぶつでいっぱいだ」（中央）4/23 203人</li> <li>講演会「観光のプロになる方法」（中央）11/3 61人 <ul style="list-style-type: none"> <li>【参加者の声】参加者アンケートの結果、9割以上が「よかった」「とてもよかった」と回答。</li> <li>「インバウンド、観光について興味深い話が聞けた」「自分の仕事でまだまだやれることはあると思った」「観光に対する見方、ポイントを教えていただいた」</li> </ul> </li> <li>「知ろう 備えよう防災工作教室」（須磨）1/20 19人</li> <li>「アニメーション～本であそぼう！～“てぶくろ”」（新長田）1/27 20人</li> <li>・参加型展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>「ぷらっとひとことコーナー」（新長田）、「おたよりコーナー」（垂水・西）</li> <li>※図書館への質問やお手紙</li> <li>「どくしょの木」「読書のそら」「読書のみなど」（灘・西・新長田・三宮）※本の感想</li> <li>「あなたにこの本おすすめし隊」「本のわ」コーナー（北神）（北）※おすすめ本の紹介</li> </ul> </li> <li>・ワークショップ等利用者等の参加、交流を促進する企画の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>「庶民派グルメライター芝田真督さんと行く 兵庫 下町 まちあるき」（兵庫）5/21 10人</li> <li>【参加者の声】「知っていると思っていた場所にも新しい発見があった」「地域の人たちとのふれあいが楽しかった」「人の温かさや下町の雰囲気、身も心もおなか一杯になった」</li> <li>「イチオシ！中高生読書交流会」（北）8/18 11人</li> <li>「耳で聞く英語 de 読書会」（新長田）10/21 6人</li> <li>育メンイベント「パパの自信アップ講座」（灘）11/19 3人</li> <li>「北神で川柳読んで笑おうね」※図書館や読書に関する川柳コンテスト 10～11月</li> <li>「としょこちゃんと行く植物観察会」（兵庫）12/17 5人</li> <li>「みんなちがって、みんないい@図書館」（兵庫）3/21 35人 ※ダウン症児保護者の情報交換等</li> </ul> </li> </ul>
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な年代・興味に応えるイベントを各館で工夫を凝らし実施。</li> <li>○児童やYAのコミュニケーションを図るとともに、読書への興味や関心を引き出す参加型展示を実施。</li> <li>○図書館を通して地域や人に親しみ、交流を生むイベントを開催した。</li> <li>△館内で行う小さなイベントも多く、定員設定は様々だが、広報の工夫は必要。</li> </ul>

評価

【図書館協議会の評価・意見】

○植物観察会というイベントは、本と自然を結びつけ、自然に触れて本に戻るといった還流構造が期待できる。

△定員は何人だったのか、参加数が少ないのが気になる。もっと周知して参加を促す必要がある。

△もう少し広報に努めて、より多くの人参加をうながしてほしい。継続もしていただきたい。

△中央図書館で大きな企画を年に何回か開催し、大々的に広報すべき。図書館に、本に、興味をもってもらうには、インパクトのあるイベントが必要。

・「市民参加型」の各種事業やイベントは、増えている。質的な充実を図っていくことが大切であろう。

・年代、目的別にいろいろな企画をすることに意義がある。その方たちのアンケートの中から次を見いだせばよいと思う。

・図書館の事業では人数が多ければ多いほどいいという尺度では測りきれないところがある。

・申し込んでいても天候や体調により参加できないこともあるだろう。

・施設等への出前をすることで広報になるかもしれない。

・参加者が少ないのは情報が伝わっていないとも思われる。

評価

A

(4) 地域に関する情報の確実な収集に努めるとともに、特に市政に関する資料は、市民の理解を深め、地域の課題解決に役立つよう、関連部局と協力し紹介方法を工夫する。

<p>評価のポイントと取組事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館からの情報発信として業務に役立つ新着図書案内・イベント情報等のメールマガジン送信 71回（中央） ※新着図書情報は、業務に役立つものを5冊程度選択して掲載</li> <li>・展示等の企画（食育、土砂災害防止月間、自殺予防等）と参加者の声等             <ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害防止パネル展（東灘） 6月 六甲砂防事務所連携</li> <li>「貴重資料デジタルアーカイブズで見る“昭和13年神戸市大水害”」（中央・再掲）6月                 <ul style="list-style-type: none"> <li>【来館者の様子】特に高齢の方によくご覧いただいていた。</li> </ul> </li> <li>食育関連展示（中央・東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水）6月</li> <li>パネル展示「お口の中、きれいにしてる？」（中央）6月 保健福祉局口腔保健支援センター連携                 <ul style="list-style-type: none"> <li>※展示期間中のおはなし会にて、歯科衛生士に歯に関する紙芝居や、模型を使った歯磨き指導をしていただいた。</li> </ul> </li> <li>自殺予防週間展示・9月 自殺対策強化月間展示・3月 こころの健康センター連携（中央・東灘・灘・三宮・兵庫・北神・新長田・須磨・垂水・西）</li> <li>「港・海・船」展（中央）7月 みなと総局振興課連携</li> <li>中央区 KOBE パンのまち散歩関連展示「今日は何のパンにしようかな…」（中央）11月                 <ul style="list-style-type: none"> <li>【来館者の様子】5年間行っているが、展示パネルも展示資料もよく借りられていた。</li> </ul> </li> <li>防災関連展示（兵庫）1月 人と防災未来センター資料室連携</li> </ul> </li> </ul>
<p>評価</p>	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○庁内に向け定期的に新着図書やイベント情報を発信し、資料や情報の提供を行った。</li> <li>○他部局と連携し、市政の取り組みやキャンペーンを紹介する各種展示を行うとともに、課題解決につながる資料紹介を行った。</li> <li>○他部局との事業連携や市政情報の発信など、行政支援に果たす図書館の役割について印象付けた。</li> </ul> <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パンのまち散歩関連展示は、身近な楽しい良い企画だったと思う。市内の各地域の歴史や特色など、他の施設と協力して紹介する企画は続けてほしいと思う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報は、市民ニーズの多様化が今後も予想されるため、さまざまなニーズに対応すべきシステム構築がもたらされる。</li> <li>・地域に関する情報提供という観点から、三宮再開発事業計画などに関連して、どのようなまちづくりを行っていくのか、他の市町村の取り組みなど、多様な資料群を集中的に行政や市民に提供することが重要であろう。近年、佐賀県武雄市、東京都武蔵野市、兵庫県明石市など図書館を中心とするまちづくりを行う自治体が増えつつある。例えば、愛知県安城市では、中心市街地拠点施設（愛称「アンフォーレ」）を建設し、図書情報館やホールを中心とした本館、イベント等が行える願いごと広場、公園がある公共施設と、民間経営による駐車場や商業施設を市民に提供している。「学び・健やか・交わりの場として、情報発信並びに学び・健康づくり及び多様な交流と活動を促進し、中心市街地の賑わいの創出・活性化を目指すため」に2017年6月1日にオープンしている。神戸市の関連部局に対して、このような情報発信を図書館として努めていくべきであろう。</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: right; border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> <p>評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> </div>



(5)他部局や地域の社会教育施設、民間の関係団体等と連携し、講座、企画展示などを行うことによって、多様な学習機会を提供する。

評価のポイントと取組事例

- ・児童館、保育所、公民館、動物園、埋蔵文化財センター、コミスタこうべ、日本政策金融公庫等と連携した展示、講座等の開催と、参加者の声等  
 (イベント実施回数 320 回 参加者 10,833 人 展示 108 回)
- 「六甲山 150 年歴史散歩展」7 月～10 月 「阪神・淡路大震災“23 年”」1 月～2 月  
 (東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水・西) 神戸アーカイブ写真館連携
- 「垂水区立体マップ」作成・設置(垂水)12 月～ 垂水区まちづくり課連携
- 「科学道 100 冊」9 月・11 月・2 月(新長田・兵庫・中央)理化学研究所、編集工学研究所連携
- すくすく赤ちゃんセミナー 区役所連携 全地域館で実施
- おはなしゆりかご(兵庫)神戸市地域子育て支援センター兵庫連携
- 「在日外国人児童読書の会」「絵本の読み聞かせ」(新長田)NPO 神戸定住外国人支援センター連携
- 「まめおはなし会」(須磨) たかとり児童館連携
- 「いかなごぬりえにチャレンジ」(垂水)4/5 55 人 垂水区まちづくり課連携
- KOBE 須磨きらくえん「青空市」参加(須磨)5/21 ※絵本の読み聞かせ体験
- 「よみきかせワークショップ」(三宮)6,9,12 月 39 人 バンドー青少年科学館連携
- 「読み聞かせや絵本選びについて(保育士対象研修)」(北)7/20 11 人 ※研修講師派遣
- 「垂水の浜の生き物とであおう」(垂水)7/22 16 人 マリンピア神戸さかなの学校連携
- 「神戸ゆかりのエジソン科学実験とおはなし会」(西)8/20 西区民センター連携
- 「いすなおすけ」(兵庫)7/27 12 人「北の椅子と」連携
- 「兵庫駅南公園こどもフェスタ」(兵庫) 8/27 駅南公園こどもフェスタ実行委員会連携
- 「おはなしの会&キンボール体験」(須磨) 10/9 18 人 須磨体育館連携
- 「栄養士さんに学ぶ 食べて長生き!健康講座」(北神)11/26 12 人 北神区民センター共催
- 「楽しくてためになる大人の社会見学」(東灘)11/29 6 人 東灘区まちづくり課
- 「カンガルーフェスタ」参加(新長田)12/8 長田区保健福祉部連携
- 「パパのおひざ DE おはなし会」(北)12/10 6 人 北区保健福祉部連携

【参加者の声等】

参加者全員が「よかった」「とてもよかった」「ぜひ参加したい」「日程があえば参加したい」との反応

「きてきてカーニバル」図書館ブース(北)10/27 きてきてカーニバル実行委員会連携

「おきしお夢はこぶ号と行く神戸・歴史の旅」(中央)11/11 博物館連携 ※展示とワークショップ

「しんながた くにづかローカル&ワールドフェスティバル」参加(新長田)11/26 読み聞かせ 24 人  
 くにづかりポーンプロジェクト連携

ビジネス支援講演会「起業(ゆめ)を叶える第一歩」(中央)2/24 21 人日本政策金融公庫連携

ビジネスセミナー「151 年目の港まち・神戸」森田潔氏(神戸港振興協会)講演会(三宮)3/11 28 人

評価

【図書館の自己評価】

○行政他部局等と多様に連携し、工夫を凝らした多くの企画により学習の機会を提供。地域の施設、団体との連携により、その地域ならではの特色が生まれている。

図書館外での実施も多く、地域の中で図書館や本に親しみを持ってもらえるよう努めた。

【図書館協議会の評価・意見】

○図書館外での実施に積極的に取り組まれ、良いと思う。美術館や博物館との連携も期待する。

○「在日外国人児童読書の会」「絵本の読み聞かせ」(新長田図書館)を見学したが非常に素晴らしい取組みだ。日本語が達者でない親をもつ子供たちに、学校でも家庭でもない第三の場で日本語学習の機会を設け、漢字が読めない等の低学力化を防ぐ。その様子をつぶさに見て、図書館はがんばっているなどと思った。

- ・他行政セクションとの連携は、神戸市ほどの大きな所帯だと、なかなかその情報レベルのバランスが難しいと思う。市民が何を期待しているかを、的確に把握する試みがより求められる。
- ・読み聞かせはどんどん行ってほしい。そこでの本の紹介もしてあげてほしい。

評価

A

(6) 学校図書館の機能強化や学校図書館を活用した授業等への支援として、団体貸出や司書による運営アドバイスをを行う。

評価のポイント

- ・司書教諭、学校司書への研修等の実施
  - 4/6 学校司書新規採用研修 41人
  - 5/12 神小研図書館部総会にて図書館見学 51人
  - 6/13, 10/3
    - 神小研図書館部主催の「選定の会」に、希望する学校司書も参加 6/13 43人, 10/3 26人
  - 10/25 学校司書全体研修 100人
  - 6/29 有野幼稚園教員向け絵本紹介 5人
  - 7/31 中学校図書係生徒のつどい ※公共図書館の使い方説明と図書館見学 37校 122人 (図書館関係者、教育委員会関係者含む)
- ・学校図書館への団体貸出、「テーマ本集め」の実施
  - テーマ本貸出の利用実績
    - 506回 15,557冊
- ・中央図書館における小学校総合学習用巡回用図書の購入・貸出
  - 総合学習図書セットの利用実績
    - 183校 17,540冊
  - 古くなった図書入れ替え 約560冊
  - 「災害・防災」セットを追加購入 約190冊
  - 幼稚園巡回図書
    - 30年度に向けて1,080冊購入
    - 29年度は市立幼稚園35園、私立幼稚園7園に巡回
- ・出前授業「本へのとびら」の全館実施と参加者の声等
  - 中央除く全地域館で実施
    - 【参加者の様子】(垂水)
      - 「すがたをかえる大豆」主題の本の紹介の他、大豆に関する読み物の読み聞かせを行なった。子供たちはよく聞いてくれていた。
      - 「ごんぎつね」読み物を中心に、主題の本も紹介した。アニメーションもあわせて実施。子供たちは積極的に参加し、盛り上がった。
      - ブックトーク後、子供たちが集まってきて、紹介した本を手にとって読んだり友達と一緒に見たりする光景が見られた。

評価

【図書館の自己評価】

- 学校図書館・学校司書への支援として、学校司書への研修会等を実施し、最新の情報提供や運営アドバイスをを行った。
- 学校の求めに応じ具体的なテーマに応じた図書を選択し貸し出すテーマ本貸出を全館で数多く行った。
- 学校図書館に対する資料面での支援として、総合学習用図書セットを貸出。幼稚園に対しても巡回図書を貸し出した。
- 総合学習用図書のセットの内容を見直し、古くなったものを入れ替えるとともに、新しいものを追加した。

【図書館協議会の評価・意見】

- 学校図書館については、相対的に神戸市は、進んでいるという話は聞く。
- 学校司書による学校図書館の活性化は目を見張るものがある。
  - ・生徒だけでなく大人への案内などできないものか。
  - ・学校図書館へ専任司書が配置される小学校中学校が増えてきた。公共図書館として本の面、また本と子どもをつなぐ技術的な面で、支援を充実して、続けていただきたい。

評価

A

(7)図書館に対する理解と関心を高め、利用者層の拡大を図るため、ホームページ等を活用した積極的な情報発信に努める。

評価のポイントと取組事例

- ・行事や展示の紹介などコンテンツの充実  
 図書館の様子を伝えるために各館のページに掲載している開催済みイベント・定例イベントのPR等を定期的に更新（年4回）するほか、蔵書点検等の臨時休館日や毎月の行事予定を掲載。  
 自動車図書館の各ステーションの地図を掲載し、区別に参照しやすくする等、案内ページをリニューアル
- ・他部局、関係機関、民間団体等が運営するインターネット情報発信への情報提供  
 「こうべ子育て応援カレンダー」への情報提供（兵庫）  
 「KOBE 子育て応援団ママフレ」への情報提供（全館）  
 「KOBE 生涯学習パスポート マナビィ単位認定制度」への参加（全館）  
 イベントサイト「KOBE Today」にイベント情報掲載  
 神戸市ネットモニターへのアンケート実施（9月）
- ・Facebookでの発信と反応  
 掲載記事数 193件 いいね！ 1,506件（平均7.8件）

評価

【図書館の自己評価】

- 各館のページに毎月の行事予定等を掲載するとともに、最近のイベントやトピックを知ってもらえるよう定期的な更新を行い積極的な広報に努めた。
- 自動車図書館のステーションを区別に整理し、地図を付けて掲載することで、アクセスしやすい環境づくりに努めた。
- インターネットによる情報発信の機会を捉え、情報提供に努めた。
- FaceBookを活用し、業務や行事についての日常的な情報発信に努めた。

【図書館協議会の評価・意見】

- △ホームページが定期更新が年4回は少ない。見に来ると新しい情報が載っているというのが常に必要だ。
- △更新の回数を増やすことを検討してみてもどうか。
- △様々な情報がホームページを活用して発信されており、努力されていると思う。ただ、ホームページを開けたとき、何か惹きつけられる工夫（デザインも含め）が、もう少しあればいいと感じた。先日、大雨洪水警報が神戸市に連日出たが、図書館ではどのように対応しているのか、イベントや行事はどうなっているのか知りたいという声があった。「ホームページを見ても分からなかった」そうだ。
- △インターネットによる情報発信についてはどれくらい市民に伝わっているのか。伝えていく工夫も必要である。
- △アクセス数を増やす為の工夫を、専門家に依頼して、ホームページを充実させてはどうか。FaceBookもフォロワーが718人というのは少し寂しい気がする。
- ・読んで楽しめるようなコンテンツ（他都市に例のある館長によるブログなど）を工夫すればアクセスも増えるのではないか。
- ・図書館についての理解促進は、教育委員会生涯学習課管轄のさまざまな事業と連携した方策を、より充実させていくことが必要である。

評価  
B

(8) 自動車図書館を活用し、図書館から離れた地域の子供と保護者に対する子育て支援のための情報提供に努める。	
評価 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントや行事予定、区役所等が実施する子育て支援事業などの情報の紹介、提供 最新のチラシ、パンフレットを備え付けのパンフレットラックに設置、配布</li> <li>・妊娠、乳幼児の病気・健康管理、遊びや成長など育児、子育てに関するコーナーの設置 神戸市立図書館作成の「えほんの小箱」（おすすめ絵本リスト）、「本の虫通帳」（子供向け読書記録帳）を、希望者に常時配布 車内書架に「子育て関連図書コーナー」を設けた。関連図書を一か所に集めるとともに、壁面にもそのコーナーと分かるよう展示</li> </ul>
評 価	<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○チラシ・パンフレットを積極的に収集し、地域の情報提供を行った。</li> <li>○本のリストや読書記録帳を配布し、子育て世代を支援し、子供たちを読書に誘えるよう努めた。</li> <li>○「子育て関連図書コーナー」を作ることで、利用者の利便性を高め、利用促進を図った。</li> </ul> <p><b>【図書館協議会の評価・意見】</b></p> <p>○自動車図書館の車内書架に「子育て関連図書コーナー」を設けるなどの取り組みは高く評価することができる。2018年5月18日（金）22:45-23:10にNHK総合テレビで放映された「ドキュメント72時間 島へ山へ走る図書館」では、愛媛県松山市の自動車図書館が本を待っている人々に定期的に所蔵資料を積み込んで提供し、人々の学習や娯楽を支え、生きがいにまでつながっていることが描かれていた。神戸市においても近くに図書館がない、出かけることが不自由である、子どもが小さい、高齢であるなどの理由で来館が困難な利用者のために自動車図書館がアウトリーチサービスを行っていることは高く評価することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この分野でのサービスは、政令市の中では特徴的なものとして、云われることもあるようだが、より、図書館にアクセスしにくい地域へのきめ細かいサービスを検討していく必要性はあろう。</li> <li>・児童館や学校と協力するのはどうだろうか。</li> <li>・図書館へ足を運びづらい高齢者の方々への働きかけも、あったらよいと思う。</li> </ul>
	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="text-align: center;">評 価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> </div>

(9) ボランティアに対し、活動の機会や場所に関する情報提供に努めるとともに、教育・地域連携センター、生涯学習課等と協力し、交流会や研修等を実施する。			
評価 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み聞かせに必要な絵本の団体貸出などの活動支援 ボランティア団体に貸出カードを発行し貸出</li> <li>・ ボランティアが参加するおはなし会等の開催、企画や運営にボランティアが参加する協働事業の実施 ボランティアによるおはなし会は、児童・乳幼児・大人等様々な年代を対象に実施 「アニメーション〜本で遊ぼう」（新長田）11/11 9人 「大人のための朗読会 楽しい朗読」（新長田）</li> <li>・ ボランティア（ボランティアグループ）の交流や仲間作り、情報交換のための交流会の開催 「朗読ボランティア交流会」（垂水）7/18 16人 「子供と本をつなぐプログラム2018〜ボランティア交流会〜」 読書ボランティアスキルアップ講座 第3回 3/1 34人</li> <li>・ ボランティアに対する県立図書館等が実施するボランティア向け講習会や助成事業等の情報収集と情報発信 図書館でチラシ等配布</li> <li>・ ボランティアの育成やスキルアップを図る研修等の実施（読書ボランティアスキルアップ講座、生涯学習課実施の読み聞かせびと養成講座） 読書ボランティアスキルアップ講座 「再確認、読み聞かせ・おはなし会の基本」 第1回「再確認、読み聞かせ・おはなし会の基本①」1/11 41人 第2回 2/1 38人 第3回は上記 第4回 3/15 71人</li> </ul>		
評価	<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <p>○ボランティア団体に対して図書を貸し出し、活動を支援。多様な活躍の場を提供した。 ○交流会やスキルアップのための講座を開催し、より実りある活動をしていただけるよう支援を行った。 △他機関が実施する事業の情報収集や情報発信に努めているが、ボランティアに提供すべき情報の取捨選択が難しい。</p> <p><b>【図書館協議会の評価・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアについては、量的な拡大は今後も望めるであろうが、質的な充実をいかに図っていくかが重要である。</li> <li>・ ボランティアの活動できる場はあるのだろうか。</li> <li>・ 一口に、図書館ボランティアといっても、様々あるだろう。例えば、書架整理のボランティア、図書館周りの植栽の手入れをするボランティア…など。ここで言うボランティアは、子どもと本をつなぐ読書ボランティアを中心にしてのものだろうか？ それぞれのボランティア活動が、何を目指しての活動か？ 誰のための活動か？、図書館としての考えを持っておくことは必要なのではないかと思う。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 100px; margin-left: auto;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">評 価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table> </div>	評 価	B
評 価			
B			

(10)行政サービスの手薄な東灘区深江地区に新たに図書館のサービスポイントを設置し、周辺住民の利便性向上を図る。

評価のポイント

- ・「図書館サービスコーナー」の設置  
8月 神戸深江生活文化史料館に「図書館サービスコーナー」を設置。運営支援を行う。

- ・深江生活文化史料館での予約図書受取と返却の利用状況

	開室日数	貸出人数	1日平均	貸出冊数	1日平均	返却冊数	1日平均
8月	8	58	7.3	163	20.4	191	23.9
9月	9	97	10.8	262	29.1	237	26.3
10月	8	89	11.1	249	31.1	298	37.3
11月	8	101	12.6	273	34.1	262	32.8
12月	8	87	10.9	212	26.5	263	32.9
1月	6	82	13.7	236	39.3	237	39.5
2月	8	131	16.4	340	42.5	329	41.1
3月	9	141	15.7	359	39.9	349	38.8

※8月はテストの数値込み

- ・「予約図書受取コーナー」のPR  
7月 玉津南公民館に児童向けのチラシ配布を依頼  
10月 垂水区及び長田区の自治懇談会においてチラシ配布  
西区、灘区、須磨区の市政懇談会においてチラシ配布  
11月 兵庫区、垂水区婦人懇においてチラシ配布  
東灘区市政懇談会においてチラシ配布  
2月 北区地域福祉センターにてチラシ配布、ポスター掲示  
2月 各区のコーナー設置校の教員を対象に、電子通知回答システム（SMOOVE）を用いてPR  
3月 北区ホームページにて「予約図書受取コーナー」のPRを開始（来年度に自動車図書館を含めた特集記事の掲載を予定）

サービスポイント全体の貸出利用冊数は、昨年度から26%増加した。

評価

【図書館の自己評価】

- 「図書館サービスコーナー」を今年度新たに1か所設置。行政サービスの空白地域である深江地区の市民にも図書館サービスをお届けすることができた。
- PRにも努め、利用が多い所では認知も十分されてきている。
- △利用の少ないコーナーについては、利用は伸びておらず、今後も更にPRが必要である。

【図書館協議会の評価・意見】

- 昨年度から26%の増加は高く評価できると思う。
- 利用の少ないコーナーへのPRに努めてほしい。
- ・こうしたピンポイントな住民サービスは、地域特性が多様な神戸市では、今後とも必要なことである。
- ・広報が行き届いているなら利用数にこだわりすぎなくてもよいのではないか。

評価  
**A**

(11) その他、子供の読書活動推進に努める。			
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習関連企画の実施と参加者の声               <ul style="list-style-type: none"> <li>出前授業「調べ学習のすすめ方」(西) 6月</li> <li>出前調べ学習講座「読書感想文講座」(垂水) 7月</li> <li>「知っとこ!昔の夏の知恵袋」(北) 7/22</li> <li>読書感想文教室(灘) 7/29</li> <li>自由研究相談室「科学相談室」(西) 7/29</li> </ul> </li> <li>【参加者の声等】「いろんな実験道具を使って楽しかった」               <ul style="list-style-type: none"> <li>音の実験を行なったが、天気についての質問が出るなど、科学に興味を持ってもらえた</li> </ul> </li> <li>自由研究相談室「児童文学相談室」(西) 8月</li> <li>「日本地図で遊ぼう!」(北神) 11/19</li> <li>・「だっこでおはなし」等乳幼児と保護者向け事業の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>児童館との連携による「だっこでおはなし」の開催(中央・三宮・兵庫・北・北神・須磨・垂水)</li> <li>【参加者の様子】                   <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での読み聞かせについて日頃の疑問や、不安に思っていることを尋ねる方も多い。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・児童養護施設へのサービス検討 →今年度は未実施</li> </ul>		
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休みの時期に合わせて調べ学習イベントを行い、学習支援に努めた。</li> <li>○「だっこでおはなし」では保護者の方と直接お話しすることで家庭での読み聞かせの後押しとなり、実際に本を手にとってご覧いただくことで絵本選びの参考にもなっている。図書館への来館のきっかけにもなっている。</li> <li>△児童養護施設へのサービスを実施できていない。受け入れていただきやすいサービスのあり方を検討する必要がある。</li> </ul> <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの児童館は子どもたちでいっぱいである。是非、児童館と連携した活動を続けていただきたい。そうした子どもの読書を推進していく活動のためにも、図書館員の方々は、知識や経験を深めるべく研さんを積み、力をつけていていただきたい。</li> <li>・子供の成長に読み聞かせはとても重要である。</li> <li>・児童館、児童養護施設へのサービス検討も今後期待したい。</li> <li>・子どもの読書環境に「まんが」の活用をもっと入れて欲しい。「まんが」は、「漫画」であり、日本を代表する価値のある文化であるので、より一層の充実を願う。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">評 価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table> </div>	評 価	B
評 価			
B			